

衣類回収・選別の現場から見る 循環型ファッション実現への課題と提案

ファイバーシーディーエム株式会社

会社紹介

社 名： ファイバーシーディーエム株式会社

代表取締役会長： 泉谷 康成

代表取締役社長： 西村 信久

本社所在地：〒592-8342 大阪府堺市西区浜寺船尾町西5丁558番地16

事業内容： 繊維原料、製品、雑貨などの輸出入及び卸、小売

- ◆ ファイバーシーディーエム最大の特徴とも言える自社工場は古着リサイクル工場としては日本最大級の規模です。
- ◆ そのスケールを活かし、搬入から仕分け・梱包・出荷までを一貫体制で効率化。
- ◆ 選別後の商品は海外マーケットに輸出されます。一部自社古着店へ。



■りんくう工場

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜4番地2

TEL : 072-484-1001

FAX : 072-484-1002

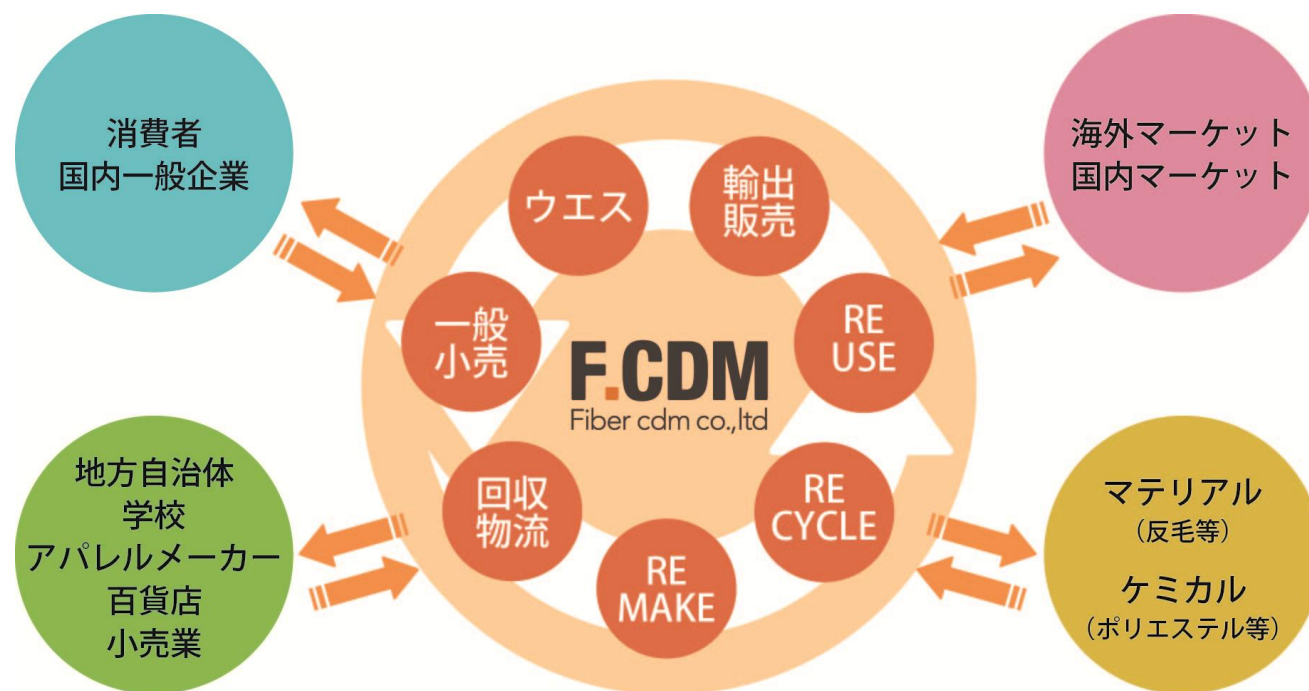
Email : manager@fcdm.co.jp

URL : <http://www.fcdm.co.jp>

事業内容

- 1.回収
- 2.衣類を工場に搬入
- 3.衣類を選別
- 4.仕分け・検品
- 5.梱包・出荷
- 6.国内店舗用仕分け・在庫
- 7.店舗

RE-USE
海外輸出
国内販売
RE-CYCLE
RE-MAKE



弊社の取り組み概要

- ・選別後の高品質なリユース商品を国内外へ販売
- ・雇用を安定する為の職場環境の整備
- ・トレーサビリティデータの集計・HPにて開示
(海外工場の数字を含みます)
- ・繊維to繊維 帝人フロンティア様との取り組み
- ・oHOHoプロジェクト等への参加
- ・テキスタイルサーキュラーネットワーク活動に参加
- ・学生イベントへの積極的参加
- ・大手アパレル企業様からリサイクル業務の受託

弊社は国内での手作業による高精度な選別を通じて、信頼性の高いリユース・リサイクルを実現しております。

●2025年9月

	カテゴリー		合計	
			重量	割合
①	リユース	海外、国内店舗	1,106,830kg	49.4%
②	リサイクル	ウエス製品	975,300kg	43.5%
③		反毛材原料		
④		ポリエステル再生原料		
⑤		その他(ウール等再生系原料)		
⑥	サーマルリサイクル、焼却		159,881kg	7.1%
	合計		2,242,011kg	100.0%

●2025年4月1日～2025年9月30日

カテゴリー		合計		
		重量	割合	
①	リユース	海外、国内店舗	7,011,611kg	51.5%
②	リサイクル	ウエス製品	5,577,460kg	41.0%
③		反毛材原料		
④		ポリエステル再生原料		
⑤		その他(ウール等再生系原料)		
⑥	サーマルリサイクル、焼却		1,014,040kg	7.5%
合計			13,603,111kg	100.0%

使用済衣料回収のシステム構築に 関するモデル実証事業への参画

～ サステナブルファッション・プラットフォーム構築に向けて ～

oHOHoプロジェクトにおいて弊社の役割は回収、選別です。
結果の報告をさせていただきます。

環境省が関与するサステナブルファッション・プラットフォーム
「oHOHo」の公式サイトより抜粋致します。（oHOHo-cycle.jp）

① 私たちが目指すこと

地域社会の豊かな未来の創造へ貢献するため

「捨てる」から「つなぐ」へ

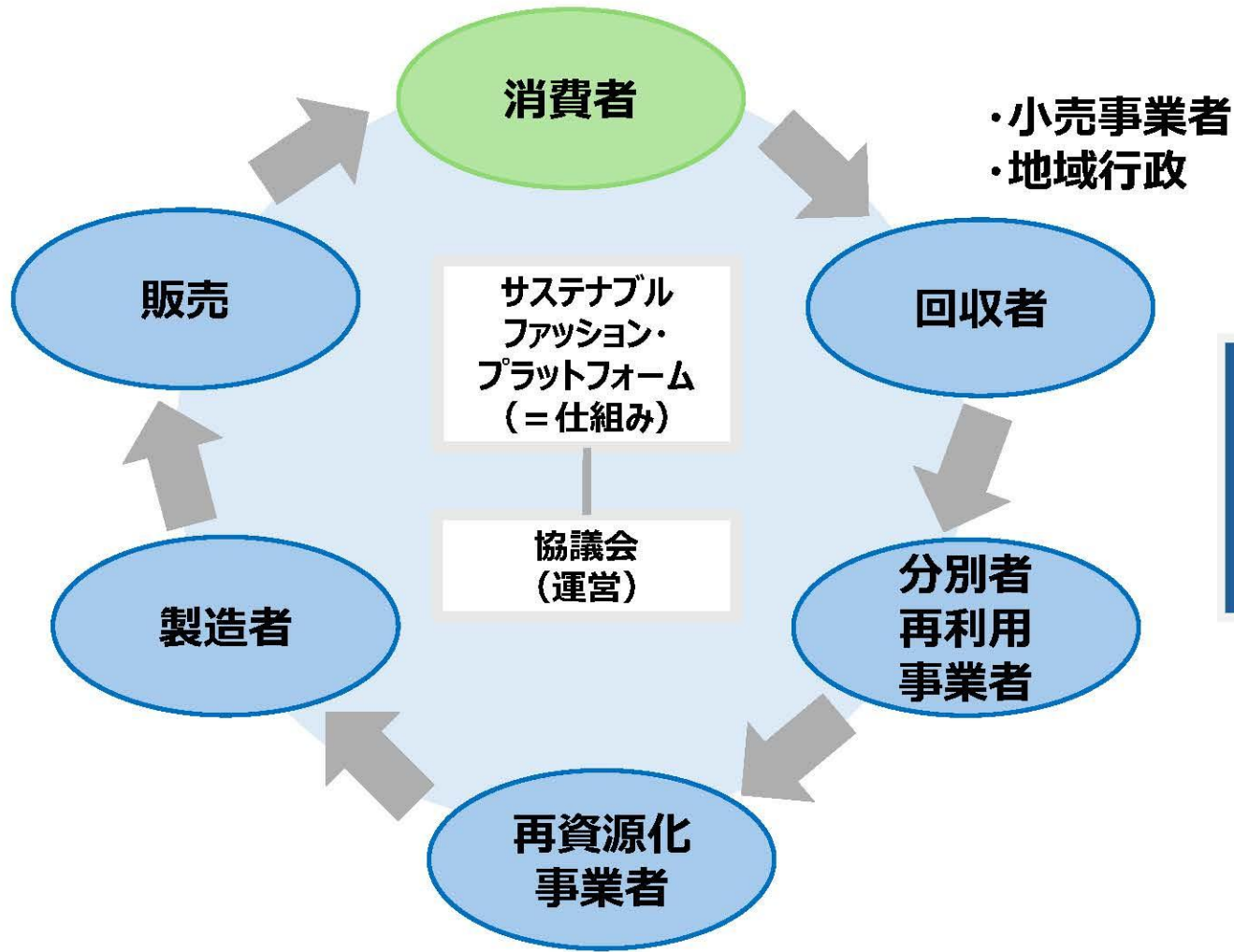
未来に向けた新たな価値を創造したい

そのために、廃棄物が発生しない社会を築いていく仕組みとして
地域共創型サーキュラーエコノミーの実現を目指します。

地域住民の方も含めた共感の輪を拡大し、参画パートナーを増やすため、
「目に見える」「手の届く」「地域ごとのサイズ感にあった」を大切に活動したいと
考えています。

※「地域共創」・・・地域住民や行政、学校、企業、そしてそこで働くひとたちも含めて参画し、
手を携えて協業することを活動の基軸にした活動のこと

② サステナブルファッション・プラットフォーム



まずは、大阪で事業活動を行う事業者および行政、地域住民を中心に共創。
結果、CO2排出削減にも寄与。

→「大阪モデル」を確立

地域の企業や行政が連携してモデルを構築することで、地域経済の活性化にもつながると考えており、サステナビリティと経済性の両立を図る上で重要と考えています。

効率・効果的で、かつ、持続可能なエコシステムを構築（見える化）

回収量4,932kgのうち、1,732kg（下取りスーツ3,200kgを除く）について、選別と効果測定を実施

※リユース（国内店舗・海外輸出用一般衣類）リサイクル（ウエス製品・反毛原材料・ポリエステル再生原料等）

	リユース	リサイクル	サーマルリサイクル	合計
重量	1,445.9kg	232.8kg	53.3kg	1732.0kg
割合	83.5%	13.4%	3.1%	100.0%



●CO2排出削減量： 26,560kgCO2e （27,209kgCO2e → 648 kgCO2e）

●シナリオ：

- ・衣類は、化学繊維由来：天然素材由来を2:1と仮定
- ・家庭から回収拠点への交通手段、1人あたり持ち込み点数は、投入時アンケートの結果をもとに推定
- ・リユース品は、廃棄し新規に製造した場合と、洗濯した場合を比較
- ・リサイクル品は、廃棄し新しい繊維から製造した場合と、リサイクル場へ輸送し再資源化処理した場合を比較
- ・サーマルリサイクルは、通常焼却と比較

主な連携先と取り組み内容

- ・TC-Net（テキスタイルサーキュラーネットワーク）をはじめ
産官学連携による繊維リサイクル推進



選別業界の現状

国内選別事業の収益悪化

- ・リサイクラーの減少 国内産業の衰退
労働集約型産業のため、一度閉めると再開は困難

海外輸出依存増

国内での繊維to繊維インフラの衰退
(原料をメーカーに引き渡せない)

自治体が収集した古着処理の不安定化
(売れないから「要らない」)

国内選別事業の収益悪化の原因

- ・ 高付加価値アイテムの入荷減による粗利減少
リユースマーケットの拡大により入荷比率が低下
- ・ 海外マーケットにおける競合国の立ち振る舞い
- ・ 国内企業の寄附行為
- ・ 回収した衣料品を未選別で海外輸出をする業者の暗躍
選別業務の海外への無責任なアウトソーシング

選別の効果と市場への貢献

- ・ 行政回収衣類の選別強化
- ・ 部分最適であっても全体最適ではない店頭でのボックス回収
付加価値の低い古着は誰が処理をするのか？
回収BOXによる高リユース率（83.5%）の理由
- ・ 市民への回収マニュアルの周知

行政回収の衣類を選別することで、廃棄量削減に大きく貢献できる

提言と今後の展望

- ・ 処理工場の増設と選別業者支援が不可欠
- ・ トレーサビリティの確保による循環型ファッションの実現
- ・ 持続可能で循環型であるファッションに向けて官民連携による支援体制の構築

➤ 弊社の使命

- ：衣類の価値を最大限に活かす
- ：効率の良い回収、選別のシステム構築
- ：雇用維持のための働き安い環境の提供

ご清聴ありがとうございました

人と人をつなぐ。今日と未来をつなぐ。

ファイバーシーディーエム株式会社
URL : <http://www.fcdm.co.jp>

